

[参考資料④]

子ども・子育て支援ニーズ調査の単純集計 の概要について

平成26年2月16日

子ども・子育て支援ニーズ調査の実施状況について

- 1 調査期間 平成25年11月27日～平成25年12月15日
- 2 実施方法 対象年齢の子どもがいる世帯へのアンケート調査(抽出調査)
- 3 回収状況 平成26年1月14日までの回収分を対象とした。
その結果は下表のとおり。

調査対象	対象者数	回答者数	回収率
就学前の子どもの保護者	2,500人	1,349人	54.0%
小学生の保護者	2,500人	1,308人	52.3%
合 計	5,000人	2,657人	53.1%

- 4 単純集計 就学前の子どもの保護者 別紙1
小学生の保護者 別紙2

単純集計の結果の概要について

就学前の子どもの保護者

1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について(問9～問10-1)

現在、幼稚園や保育所などを利用している保護者の希望は、日数としては1週当たり「5日」が40.1%で最も多く、時間としては「9時から」が37.7%、「17時まで」が21.5%で、最も多くなっている。(問9-2(2))

保護者が子どもを入所(園)させたい施設としては「認可保育所」が56.7%、「幼稚園」が44.0%、「認定こども園」が22.4%で、これらが上位3つとなっている。(問10)

2 地域の子育て支援事業の利用状況について(問11・問12)

地域子育て支援拠点事業を「今後利用したい」が20.8%、「今後利用日数を増やしたい」が7.3%で、合わせて約3割となっており、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の68.1%に比べて低くなっている。(問12)

3 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について(問13・問14)

土曜日は、「利用する必要はない」が38.8%となっており、「ほぼ毎週利用したい」の34.6%と「月に1～2回は利用したい」の24.8%を合わせた59.4%に比べて低くなっている。一方で、日曜・祝日は、「利用する必要はない」が71.8%となっており、「ほぼ毎週利用したい」の3.9%と「月に1～2回は利用したい」の22.2%を合わせた26.1%に比べて多くなっている。(問13)

幼稚園を利用している保護者が子どもの長期休暇中に教育・保育事業を「利用する必要はない」が34.4%となっており、「ほぼ毎日利用したい」の25.1%と「週に数日利用したい」の38.1%を合わせた63.2%に比べて低くなっている。(問14)

4 病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)(問15～問15-4)

子どもの病気やけがで休んだ保護者が、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思う割合は36.0%となっており、「利用したいとは思わない」の60.6%に比べて低くなっている。(問15-2)

5 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について(問16～問18)

不定期の教育・保育事業を「利用したい」が40.2%となっており、「利用する必要はない」の54.2%に比べて低くなっている。利用が必要な年間の日数は「1日から10日まで」が40.8%で最も多くなっている。(問17)

この1年間に子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」が17.2%となっており、みてもらう必要が「なかった」の80.9%に比べて低くなっている。(問18)

6 小学校就学後の放課後の過ごし方について(問19～問24)

低学年では放課後を過ごさせたい場所として「児童館」が18.9%、「放課後子ども教室」が16.7%、「放課後児童会」が38.0%で、合わせて約7割と多くなっているのに対し、高学年になると「児童館」が9.8%、「放課後子ども教室」が13.7%、「放課後児童会」が16.9%で、合わせて約4割と低くなっている。一方で、「部活動や習い事」の割合が低学年では27.9%と低いのに対し、高学年では60.4%と高くなっている。(問19・問20)

7 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について(問25・問26)

生活の中で「仕事を優先」することを希望する割合は1.5%と低いが、現実「仕事を優先」している割合は24.1%となっており、その差が最も大きくなっている。(問25)

8 子育てや地域での子育て環境について(問27～問33)

子育てに対しては、「生きがいを感じる」が15.7%、「楽しみや喜びを感じる」が53.4%で、合わせて約7割の保護者が前向きに捉えている。(問27)

地域への期待としては、「休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること」が67.5%で最も多く、次いで「子どもが安心して通園できること」が58.8%、「地域の防犯体制が整備されていること」が55.5%となっている。(問31)

※ 上記は、あくまでもニーズ調査の単純集計から把握できる傾向であり、クロス集計をした結果、これらと異なる傾向となることも考えられる。

単純集計の結果の概要について

小学生の保護者

1 病気の際の対応について(問8～問8-4)

子どもの病気やけがで休んだ保護者が、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思う割合は15.6%となっており、「利用したいとは思わない」の82.2%に比べて低くなっている。(問8-2)

2 不定期の事業の利用について(問9～問11)

不定期の教育・保育事業を「利用したい」が14.1%となっており、「利用する必要はない」の79.7%に比べて低くなっている。利用が必要な年間の日数は「1日から10日まで」が54.6%で最も多くなっている。(問10)

この1年間に子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」が14.8%となっており、みてもらう必要が「なかった」の83.2%に比べて低くなっている。(問11)

3 放課後の過ごし方について(問12～問19)

放課後を過ごしている場所としては、「児童館」が6.0%、「放課後子ども教室」が2.5%、「放課後児童会」が13.7%で、合わせて約2割となっている。一方で、放課後を過ごさせたい場所としては「児童館」が10.9%、「放課後子ども教室」が12.1%、「放課後児童会」が14.2%で、合わせて約4割となっている。(問12・問13)

4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について(問20・問21)

生活の中で「仕事を優先」することを希望する割合は1.6%と低いですが、現実には「仕事を優先」している割合は31.7%となっており、その差が最も大きくなっている。(問20)

5 子育てや地域での子育て環境について(問22～問28)

子育てに対しては、「生きがいを感じる」が16.6%、「楽しみや喜びを感じる」が44.2%で、合わせて約6割の保護者が前向きに捉えている。(問22)

地域への期待としては、「子どもが安心して通学できること」が71.3%で最も多く、次いで、「地域の防犯体制が整備されていること」が49.6%、「休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること」が48.9%となっている。(問26)

※ 上記は、あくまでもニーズ調査の単純集計から把握できる傾向であり、クロス集計をした結果、これらと異なる傾向となることも考えられる。